平成 25 年 7 月 2 日

各　　位

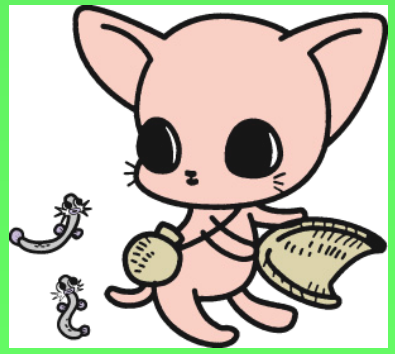
会 社 名　　株式会社　島根銀行
代表者名　　代表取締役頭取　田頭　基典
（東証第一部　コード番号　7150）
問合せ先　　総合企画グループ　部長　松井　和城
Ｔ　Ｅ　Ｌ　　0852（24）1239

平成 25 年度　しまぎん経営情報説明資料の開示について

株式会社島根銀行（頭取　田頭基典）は、皆さまに対し、当行の主要な経営情報を分かりやすくお伝えするため、「平成 25 年度　しまぎん経営情報説明資料」を作成いたしました。是非、ご覧いただき、当行に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

以上

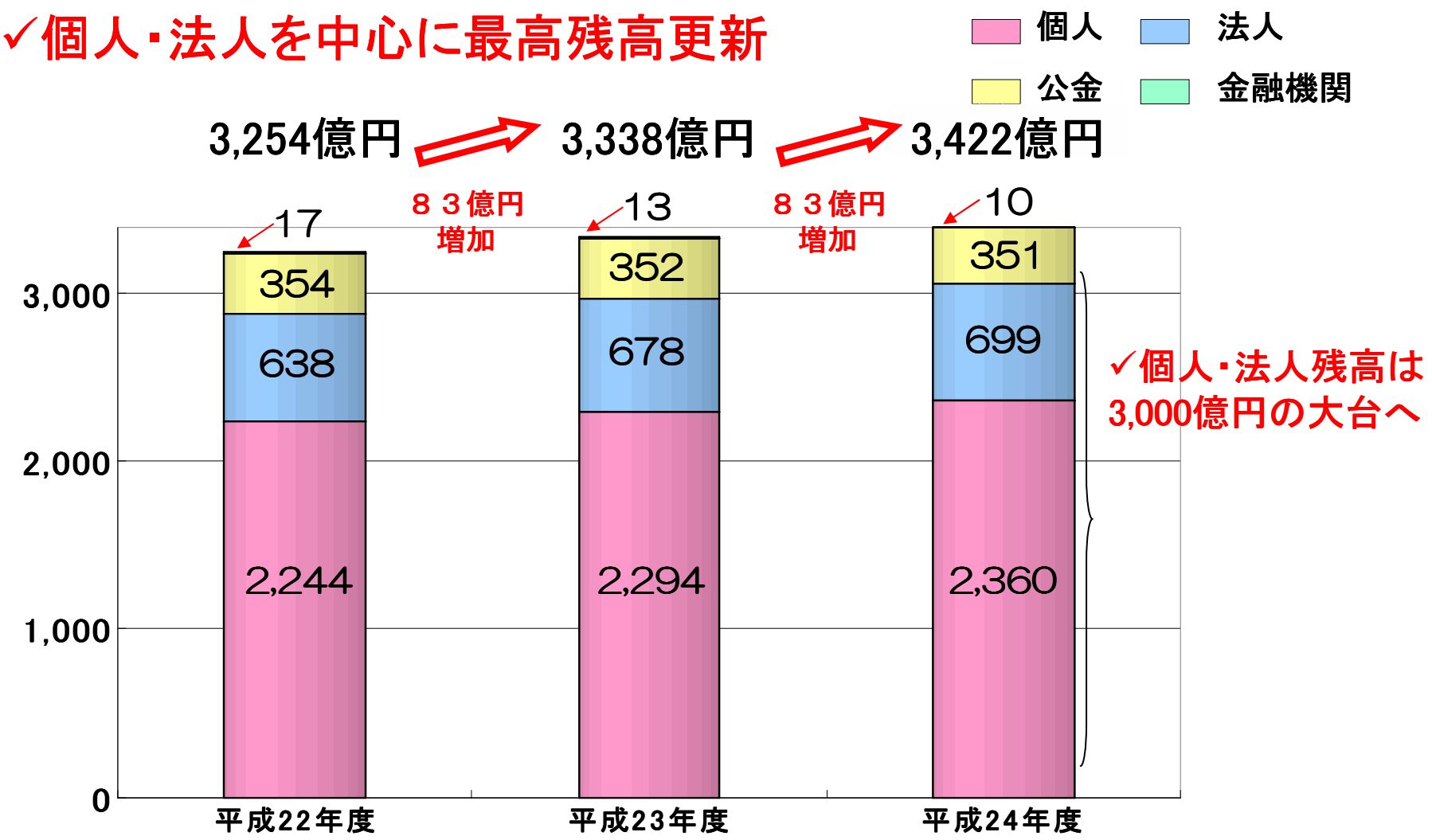
＜平成25年度＞
しまぎん経営情報説明資料



島根銀行

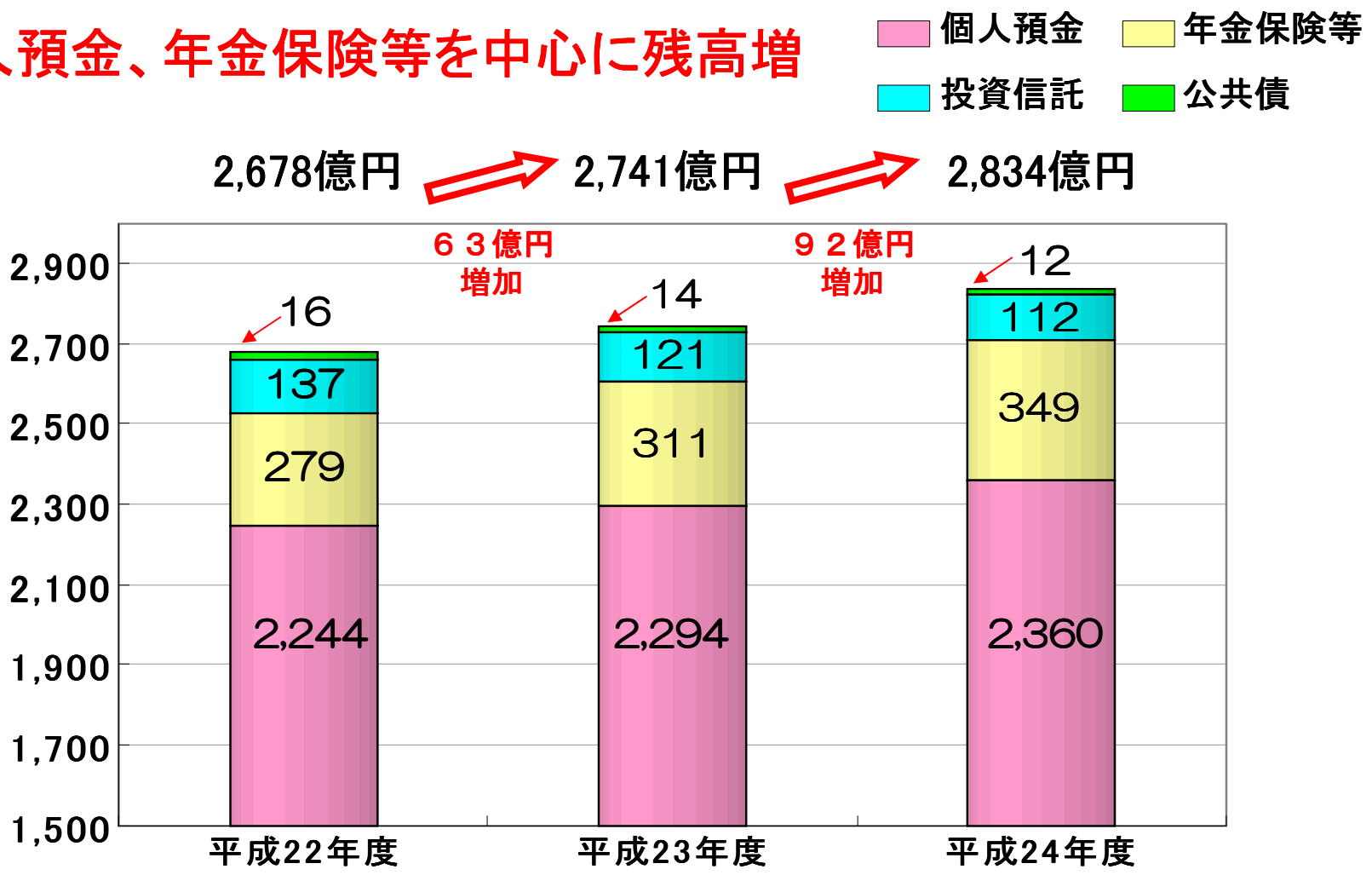
預金残高の推移

✓個人・法人を中心に最高残高更新



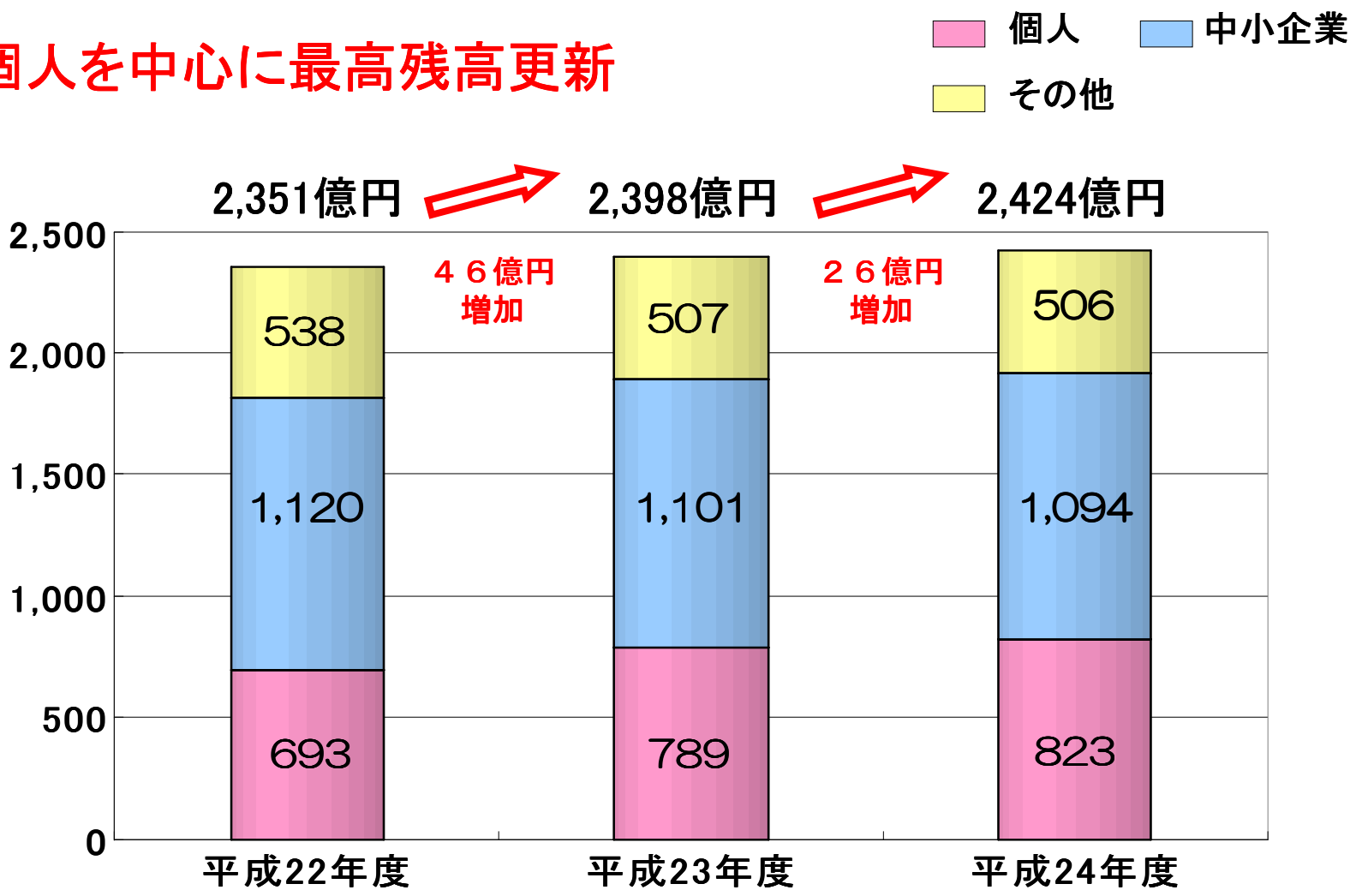
個人預り資産の推移

✓個人預金、年金保険等を中心に残高増



貸出金残高の推移

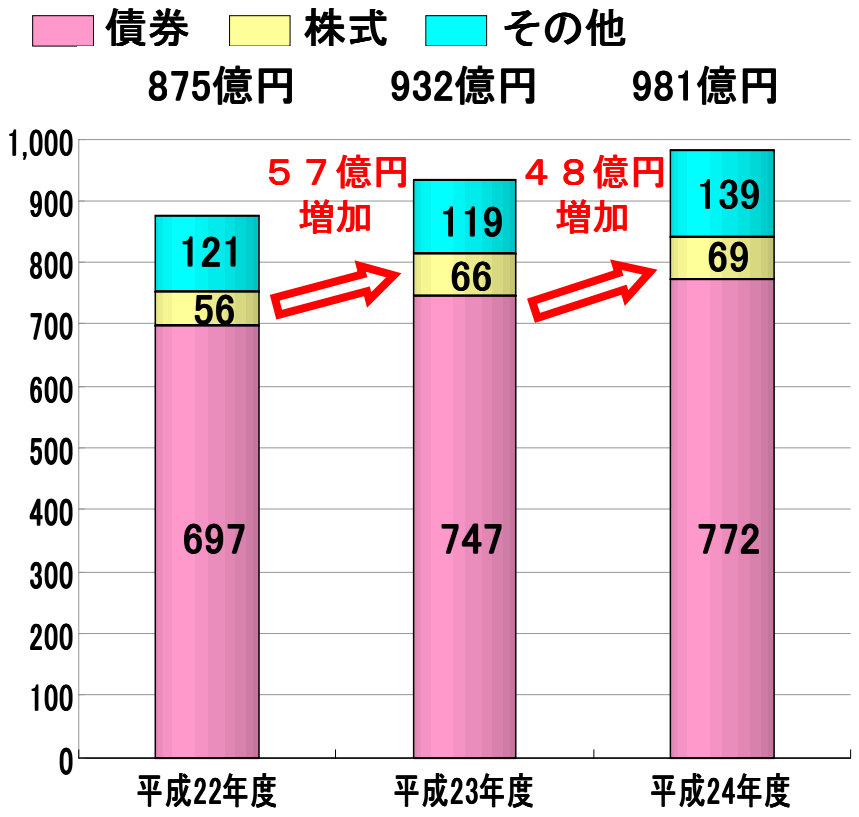
✓個人を中心に最高残高更新



有価証券の推移

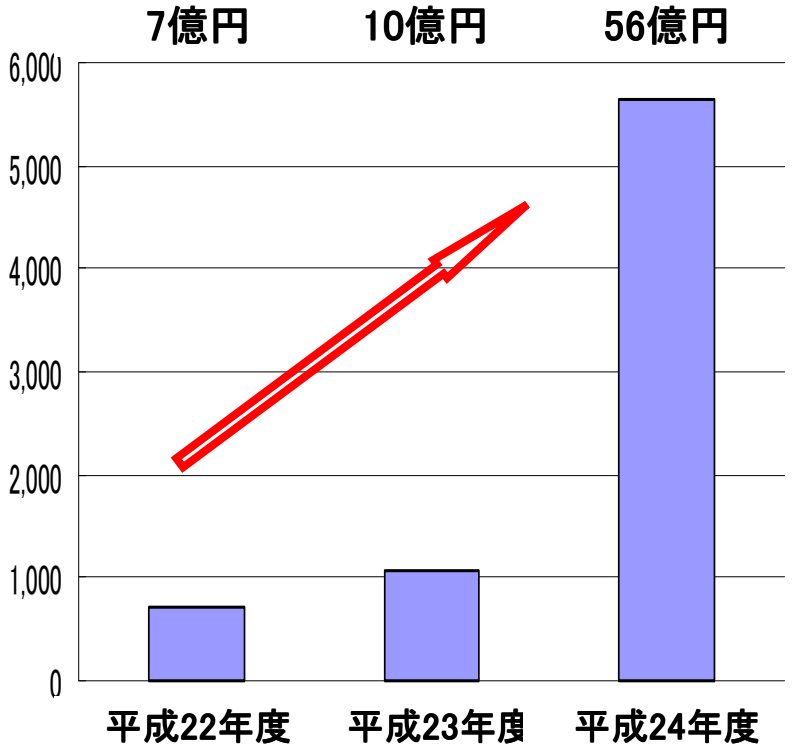
■有価証券残高

✓安全性の高い国債等債券を中心に運用



■評価損益の推移

✓含み益が大幅に増加



収益の状況①

（単位：百万円）

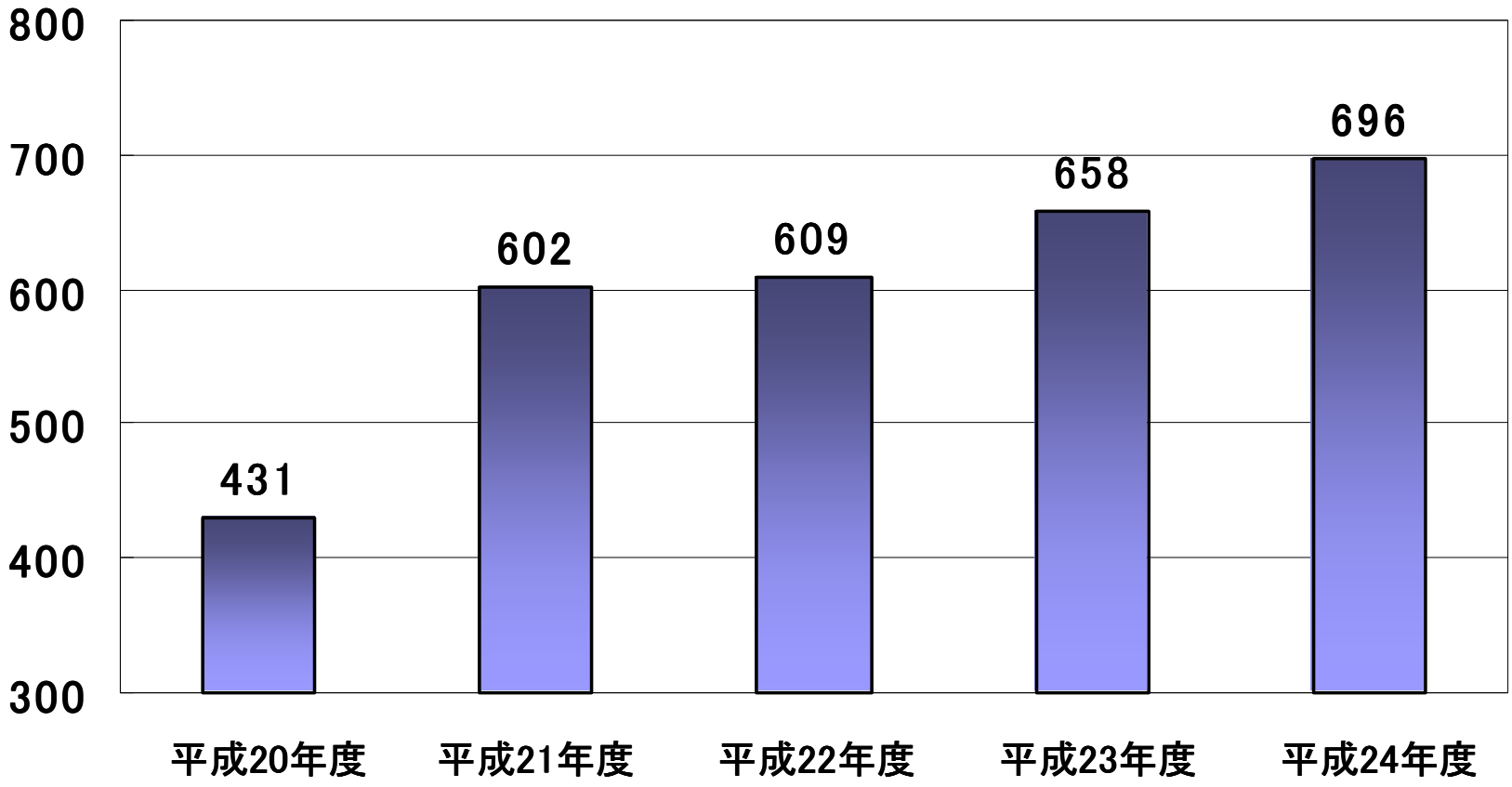
	22年度	23年度	24年度	前期増減
経常収益	7,780	7,582	8,643	+1,061
経常費用	6,822	6,631	7,325	+694
経常利益	957	951	1,318	+366
当期純利益	609	658	696	+38

収益の状況②

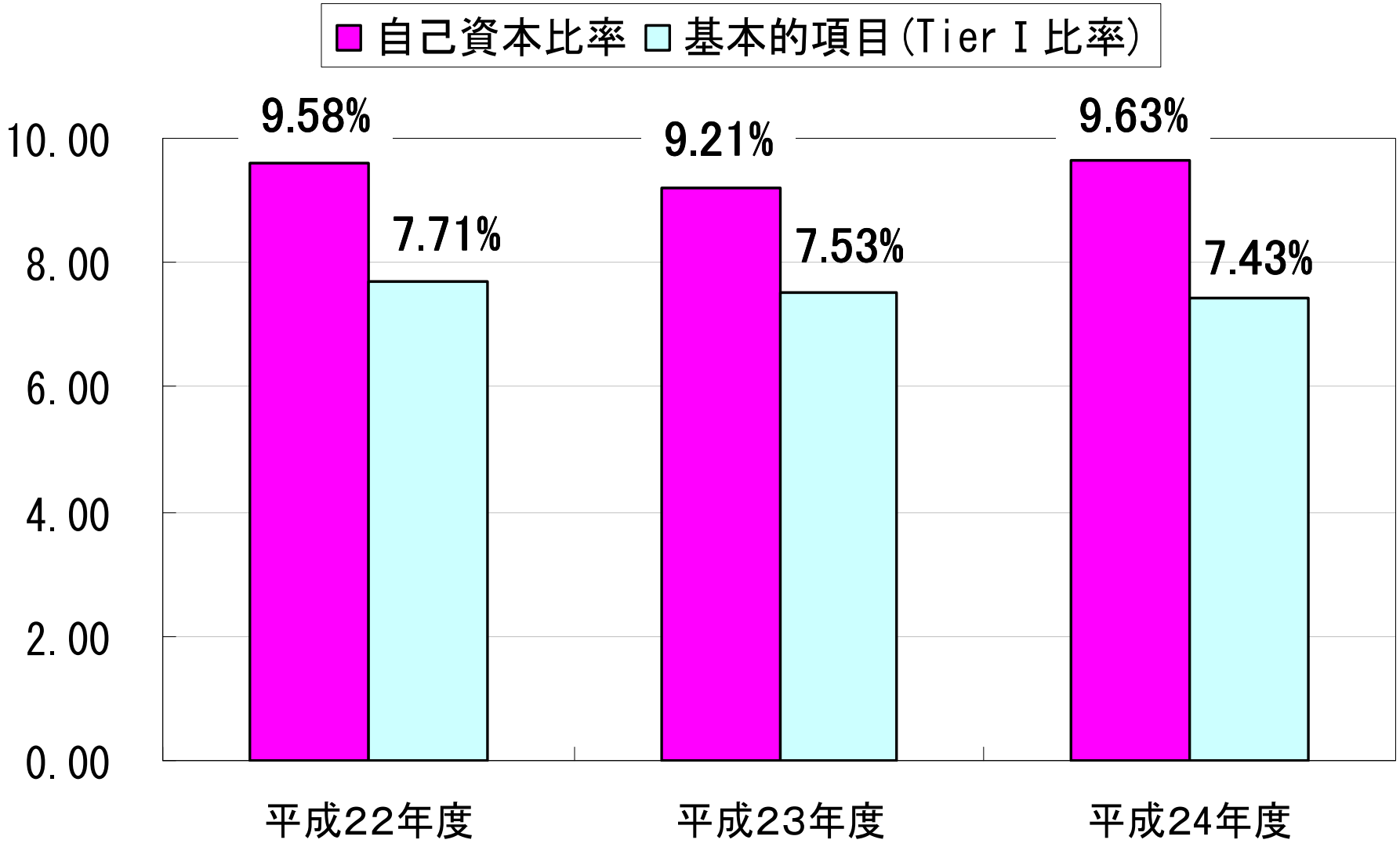
■当期純利益の推移

✓4期連続　過去最高益更新

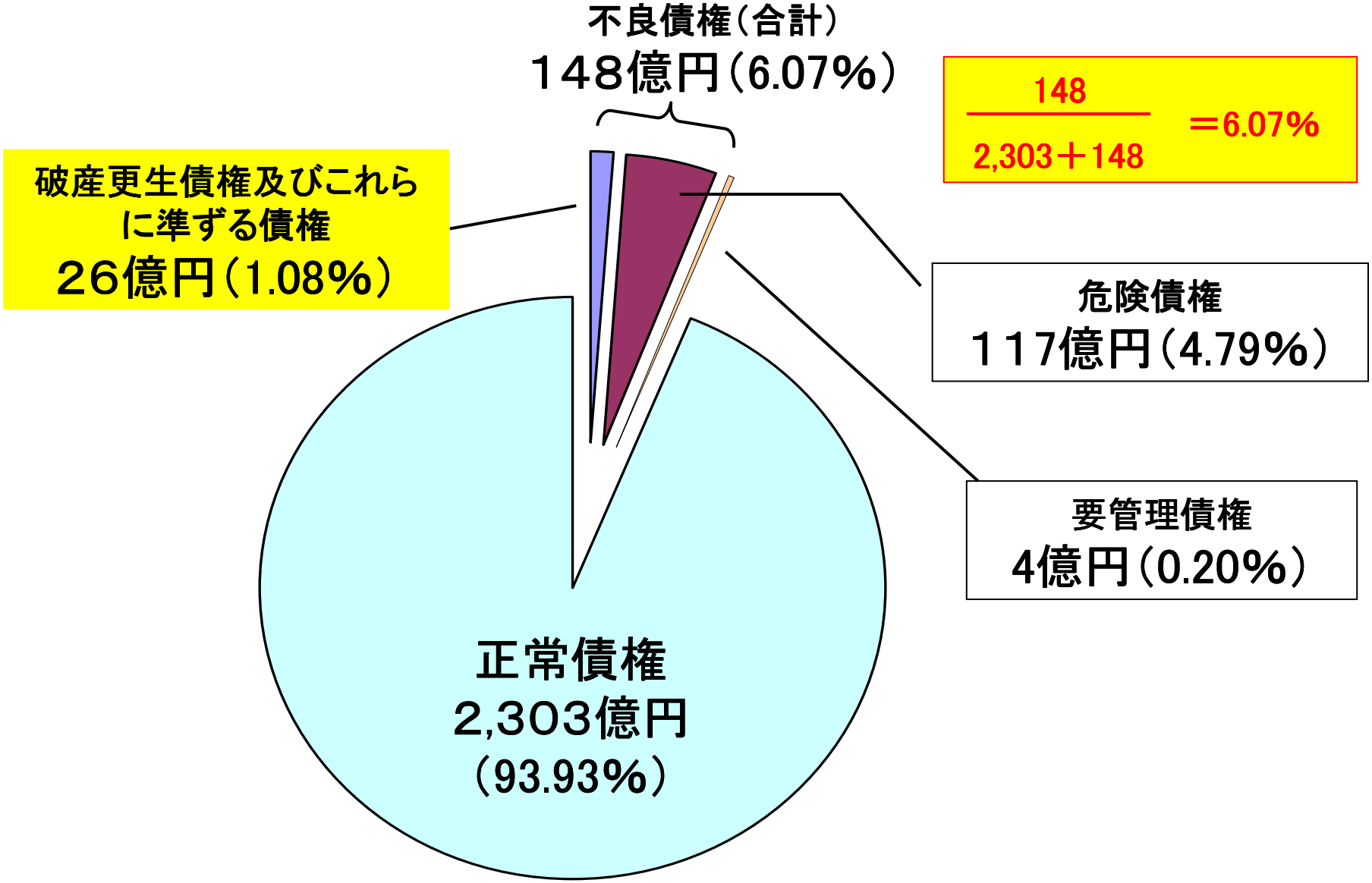
（単位：百万円）



自己資本と基本的項目(Tier 1)比率

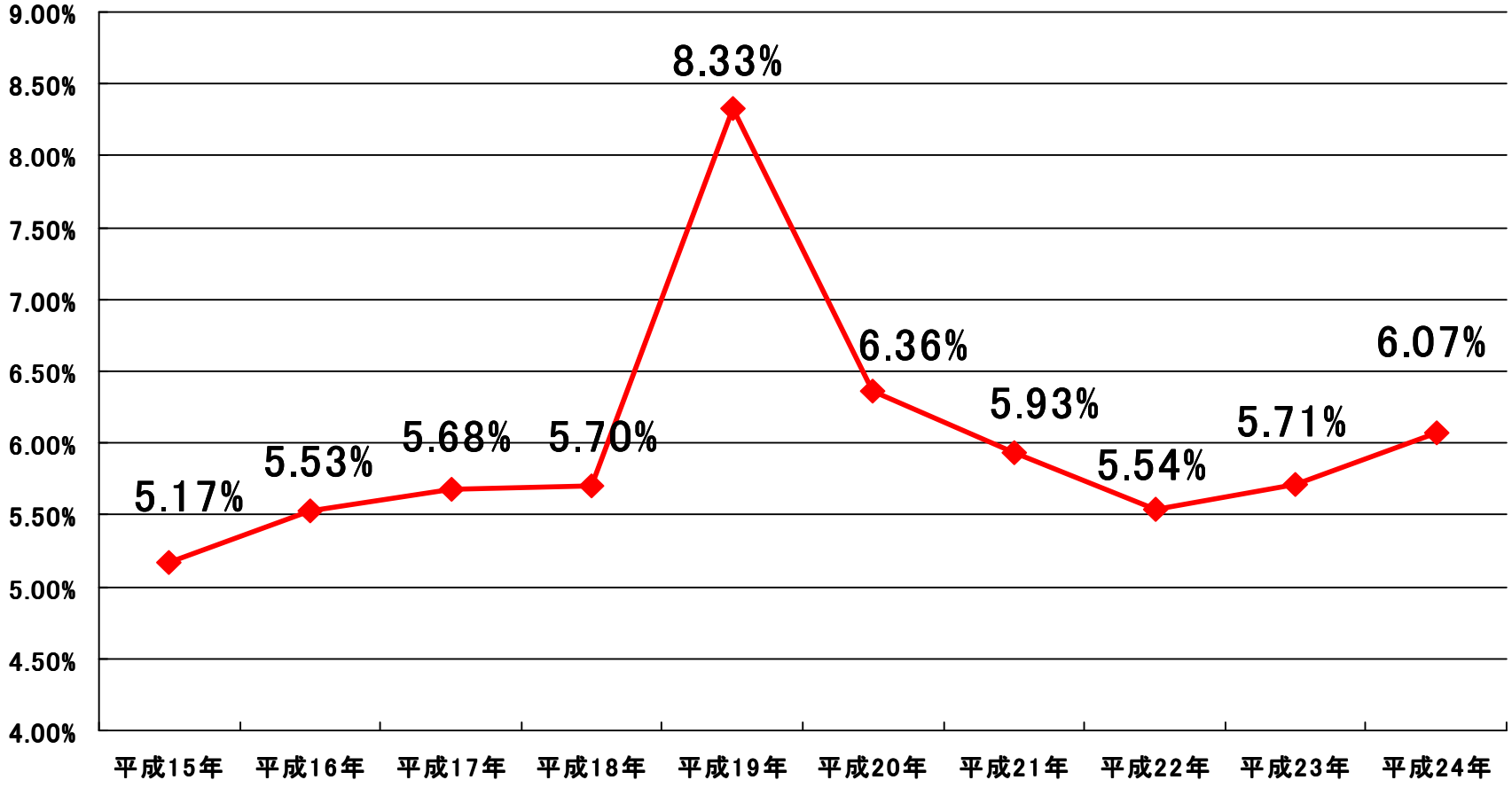


不良債権（金融再生法）

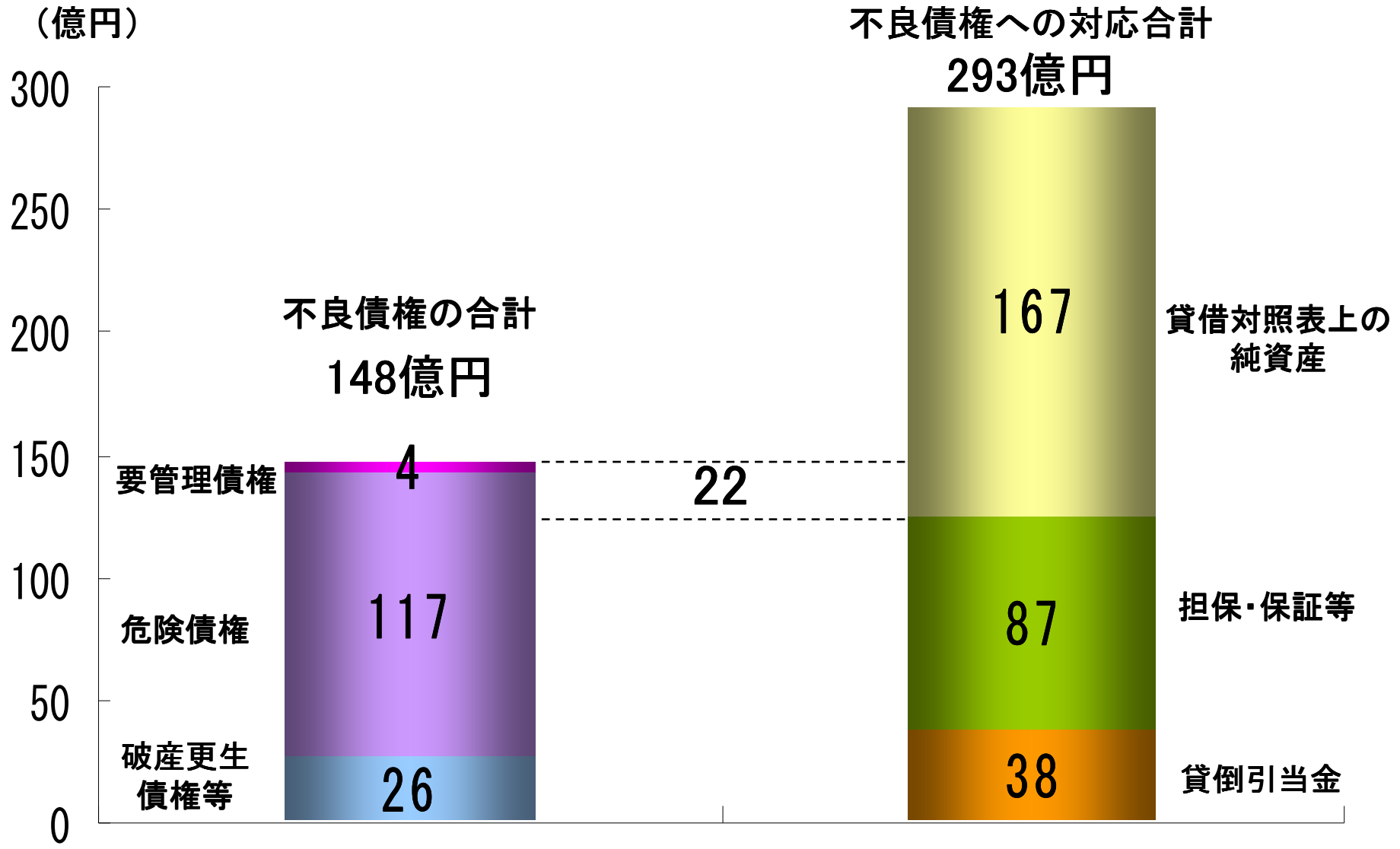

不良債権（合計）
148億円（6.07%）
148
2,303＋148
＝6.07%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
26億円（1.08%）
危険債権
117億円（4.79%）
要管理債権
4億円（0.20%）
正常債権
2,303億円
（93.93%）

不良債権比率の推移

■過去10年の「不良債権比率」の推移



不良債権への対応状況


（億円）
300
250
200
150
100
50
0
不良債権の合計
148億円
要管理債権
4
危険債権
117
破産更生
債権等
26
22
不良債権への対応合計
293億円
167
貸借対照表上の
純資産
87
担保・保証等
38
貸倒引当金

中小企業金融円滑化法への対応実績

円滑化法施行後の実行率　90．9%

（単位：件、百万円）

	受付計		うち実行済み		うち謝絶		うち取下げ		うち審査中	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
中小企業者	3,154	57,823	2,953	54,595	83	1,620	103	1,478	15	130
住宅資金借入者	301	3,286	186	2,091	32	289	81	882	2	24
合計	3,455	61,109	3,139	56,686	115	1,909	184	2,360	17	154
受付に対する割合	―	―	90.9%	―	3.3%	―	5.3%	―	0.5%	―

中期経営計画「元気大集合」の概要①

中期経営計画「元気大集合」

～創業100周年を機に、新たなるステージへ～

（計画期間：平成25年4月～平成28年3月）

～経営ビジョン～

フェイス・トゥー・フェイスの精神の下、地域密着型金融をより一層強化し、お客様の各種ニーズへのスピーディーな対応により、地域の活性化に寄与できる銀行

営業の強化　**財務の強化**　**人材の強化**　**組織の強化**

経営理念

1. 地域社会の発展に貢献し、信頼され、愛される銀行となる。
2. 常に魅力あるサービスを提供し、お客さまのニーズに積極的に応える。
3. 創造力豊かで、活力にみちた、明るい人間集団をつくる。

中期経営計画「元気大集合」の概要②

【具体的戦略－４本の柱－】

✓平成１６年から継続している　具体的戦略－４本の柱－をブラシュアップ!！

✓着実な実践により、経営ビジョンの達成を目指す

～営業の強化～

(1) 営業エリア特性を活かした 営業態勢の強化

(2) 中小企業および個人に対する取引拡大

(3) ハード・ソフト両面のチャネル強化

(4) 地域密着ブランドイメージの向上

～人材の強化～

(1) 営業能力の向上

(2) 適材適所への人事配置

(3) 行員満足度の向上

(4) コンプライアンス意識の醸成

～財務の強化～

(1) コア資本の充実

(2) 信用コストの抑制

(3) 有価証券の適正なポートフォリオ構築

(4) 統合的リスク管理の高度化

～組織の強化～

(1) 内部管理態勢の充実

(2) 開示の一段の充実

(3) 危機管理態勢の充実

(4) 創業100周年記念事業の展開

中期経営計画「元気大集合」の概要③

【数値目標】

✓本計画達成のための、平成２７年度（計画最終年度）の数値目標。

項目	平成28年3月 目　標	平成25年3月 実　績
コア業務純益	14億円	10億円
格付	BBB+	BBB
コア資本比率	9%	9%
不良債権比率	4%	6%

中期経営計画「元気大集合」の具体的施策①

①成長業種（医療・介護、環境・エネルギー等）の資金需要の確実な取り込み

融資渉外力
情報収集力
提案力

⇔

企業ニーズへの対応
事業継承
M&A
ビジネスマッチング

⇔

外部連携による
ノウハウの蓄積

②若年層、シニア層の取組強化による個人預金の積極的な吸収

＜若年層＞

生涯サポート力の強化
ライフプランに応じた商品提案
基盤取引・メイン取引の拡大

＜シニア層＞

相談ファーストコールの獲得
（資産運用・退職金・年金・相続）

中期経営計画「元気大集合」の具体的施策②

③営業・宣伝・商品等強化による消費者ローンの積極的な拡販

宣伝方法・申込みチャネルの改善

アタック方法の改善

新商品の開発・採用

④シニア層の取組強化により、公社債も含めた預かり資産残高の増嵩

接遇力・販売力の向上

アフターフォロー営業の推進

相続・資産運用等セミナーの開催

中期経営計画「元気大集合」の具体的施策③

＜長期育成プラン＞

✓幅広い知識を持ったバランスのある人材を育成



Ⅰ 基礎養成期間　銀行員となるための基本的態度・知識・スキルの習得
Ⅱ レベルアップ期間　プロの銀行員としての担当業務の能力レベル向上
Ⅲ 役席基礎養成期間　管理者に必要な知識・スキル・管理能力の習得
Ⅳ 管理能力向上期間　上位管理者となるための管理・指導能力向上

中期経営計画「元気大集合」の具体的施策④

しまぎん　創業１００周年

～平成２７年５月２０日～

◆創業１００周年へ向けた取組み◆

新本店の建築

各種記念事業・ＰＲイベント等を

継続して実施

中期経営計画「元気大集合」の具体的施策⑤

■ATMの利便性向上

平成２５年７月１日より開始

①時間外手数料が無料となる提携ATMの拡大

＜出金手数料＞・・しまぎんピスカ、インターネット普通預金カード

当行ＡＴＭ
ゆうちょ銀行
＋
鳥取銀行、島根中央信用金庫、
トマト銀行、もみじ銀行、西京銀行

＜入金手数料＞・・すべてのキャッシュカード

当行ＡＴＭ
ゆうちょ銀行
＋
島根中央信用金庫
トマト銀行、西京銀行

※一部提携ATMは除きます。

②店舗内ATMの利用時間延長

・店舗内ＡＴＭの平日利用時間拡大　⇒　すべて２１：００まで

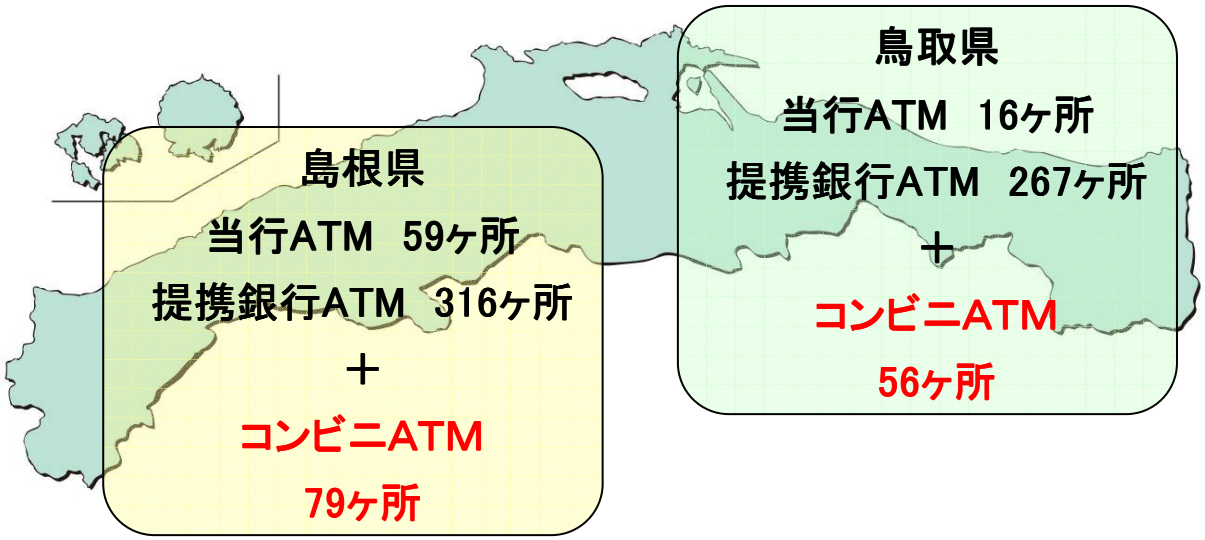
中期経営計画「元気大集合」の具体的施策⑥

■ATMの利便性向上

③コンビニATMとの提携

◆平成２５年　秋より提携開始
・ファミリーマート
・セブンイレブン
・ポプラ　等

◆山陰両県における
提携後のATM設置箇所数



※当行ATMは、平成25年3月31日現在
※提携銀行ATMは、当行調査時点

中期経営計画「元気大集合」の具体的施策⑦

■スマホアプリの導入

平成25年8月導入予定（山陰初!）



＜主な搭載予定機能＞

・GPS機能による店舗・ATM検索

・各種ローン申込み

・インターネットバンキングへのログイン

・アットユーネット（UCカード）へのログイン　など

※画像はイメージ

NISA・教育資金一括贈与非課税措置への対応

■ NISA（少額投資非課税制度）への対応

（平成２６年１月からスタート）

平成25年7月より事前受付開始

◆制度のポイント◆

株式投資信託、上場株式の配当所得や譲渡所得が**非課税**

20歳以上の日本に居住する方等が対象

毎年100万円を上限に**最大500万円**まで購入可能

■ 教育資金の一括贈与に係る贈与非課税措置への対応

（平成２５年４月からスタート）

対応商品の導入に向け現在準備中

株主還元の方針

自己資本充実による経営体質強化を図る一方で、
継続的・安定的な配当を実施

＜参考：直近5年間の一株当たりの配当額（内一株当たりの中間配当額）および配当総額＞
★22年度（23/3）および23年度（24/3）は記念配当を含む

22年度(23/3)	23年度(24/3)	24年度(25/3)
55.00円	55.00円	50.00円
（25.00円）	（25.00円）	（25.00円）
282百万円	305百万円	277百万円

フレッシュ・コミュニケーション

SHIMANE

島根銀行